

2021/7/26

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-6859

先週のマーケット動向(7月19日～7月23日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,143.5	1,153.9	1,142.7	1,150.8	+11.3
JPY/KRW	10.4068	10.5245	10.3852	10.4371	+0.077
KOSPI	3,258.87	3,264.01	3,214.42	3,254.42	▲22.49

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。世界的な新型コロナデルタ変異株の感染拡大によるリスクセンチメント悪化を受けて、1,143.5 ウォンでオープン。アジア株式市場が軒並み下落する中で、KOSPI も外国人投資家の株売りが続きドル/ウォンは1,148.0 ウォンまで上昇した。さらに海外時間には週末のOPEC+にて決定された協調減産カットに嫌気して WTI が急落すると、リスクオフムードとなり20日にドル/ウォンは1,152.7まで上昇した。21日には 韓国の新型コロナ新規感染者数が過去最大を記録したこと等をきっかけに、外国人投資家が株売りで反応するとドル/ウォンは週高値 1,153.9 まで上昇。しかし1,150 を上回る水準では、実需のウォン買いが入りが入りドル/ウォンの上値が重くなると、海外時間には、来年2月に任期満了となるパウエル FRB 議長について、再任の可能性が高いとの報道もあり市場のリスクセンチメントは回復。ドル/ウォンは週末にかけて徐々に反落する展開となった。結局、先週末対比 11.3 ウォン上昇の 1,150.8 ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は上値の重い展開を予想する。新型コロナデルタ変異株の感染拡大による経済回復への影響が意識されるほか、ここもと発表されている米経済指標が鈍くなっていることを受け、7月29日のFOMCでは前回よりもハト派色の強い内容となることが期待される。かかる中、市場全体としてややドル売り優勢になるのではなかろうか。加えて、ドル/ウォンについては月末の実需のウォン買いが期待できることから、ドル/ウォンは徐々に下落していく相場を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1135 ~ 1160	10.25 ~ 10.55	109.5 ~ 111.5

USD/KRW チャート (Source: Bloomberg)



JPY/KRW チャート (Source: Bloomberg)



今後の予定

- 26日(月) 米 6月 新築住宅販売件数
- 27日(火) 米 6月 耐久財受注 速報値
米 7月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
韓 2Q GDP 速報値
- 28日(水) 米 FOMC 政策金利発表
- 29日(木) 米 2Q GDP 一次速報
- 30日(金) 米 7月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
日 6月 鉱工業指数 速報値
米 6月 個人所得
米 6月 個人消費
日 6月 失業率
欧 2Q GDP 速報値

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。